

編集後記

これまで信州大学教職支援センターは、その研究成果を『教職研究』として発行してきました。昨年度から新たに、学校教育にかかわる実践研究論文集として『教育実践研究』を新たに発行し、今回で2号目の発刊となりました。

教職支援センターは、教職教育部門、地域連携部門、学芸員・理数系教員養成支援部門から成り、信州大学で教職課程を開設している5つの専門学部（人文学部・理学部・農学部・工学部・繊維学部）で、中学校及び高等学校の教員免許状の取得をめざす学生に向けた授業や教職相談、教員採用試験対策などの取り組みを行っています。専任教員6名、特任教員5名の体制です。

主な業務内容として学生への教職科目の教授の他、地域連携として長野県教育委員会や市町村教育委員会、近隣の諸学校など関係機関との連携に努め、教員研修事業（初任者研修、10年経験者研修、新任教育委員研修、キャリアアップ研修）にも積極的に関わっています。さらに、教員免許更新講習も開講しており、現職教員の資質向上を目指した講習を実施しています。

『教職研究』は12月に発行しますが、『教育実践研究』は毎年3月に発行していく予定です。今後も、『教育実践研究』が、学校現場における児童生徒の学力向上に向けた内容となるように、ささやかな場を提供し続けていけることを願っております。これからも、積極的な投稿をよろしくお願い申し上げます。

(編集：田村徳至)

教育実践研究 第2号

平成30年3月31日発行

発行人 信州大学 教職支援センター
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
kyousho@shinshu-u.ac.jp

Online edition ISSN 2433-2550